

ヴィオラスペース2014 vol.23

英国に育まれたヴィオラ音楽

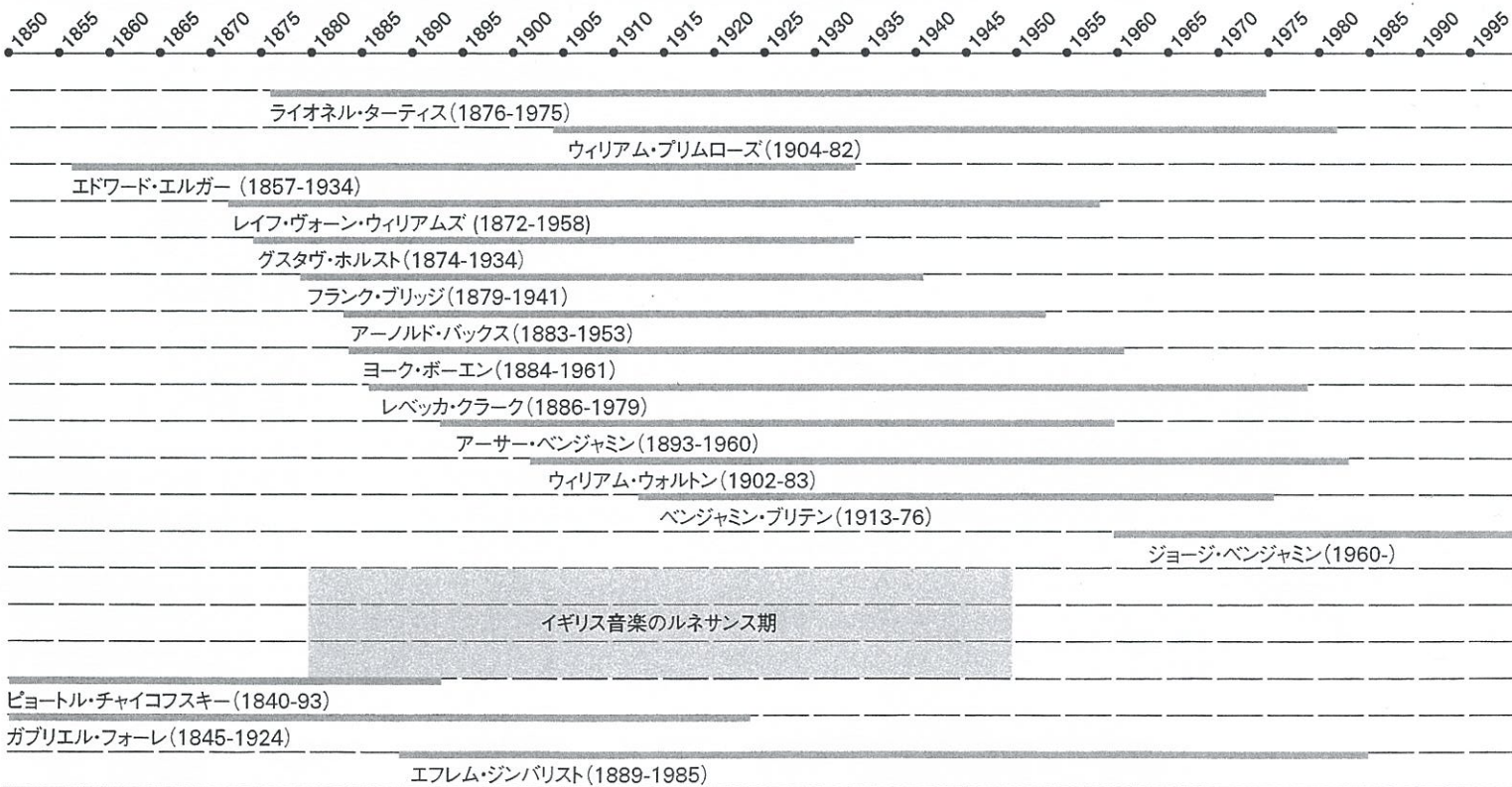
偉大なるヴィオラ奏者

ターティスとプリムローズを讃えて

新緑がまぶしい季節となりました。初夏毎年恒例の《ヴィオラスペース》が間もなくやってきます。開催23年目を迎える今年は、20世紀が誇る優れたヴィオラ奏者パウル・ヒンデミットと並ぶ偉大なるヴィオラの独奏者、また教育者としても名高い、ライオネル・ターティスとウィリアム・プリムローズを讃え、彼らの出身である「英国」を特集します。両巨匠ゆかりの曲から現代に至る名曲まで、英国に育まれた珠玉のヴィオラ作品をどうぞお楽しみください。

来る5/20の名古屋で初開催となる「若手演奏家のための公開マスタークラス」を皮切りに、大阪、東京と1週間にわたって開催致します。今回特集する英国の作曲家、そしてターティス、プリムローズが生きたイギリスのルネサンス期の年表を参考資料として作りました。公演前に、ご覧いただければ幸いです。

参考年表 | ターティスとプリムローズ、そして「イギリス音楽のルネサンス」を彩る作曲家たち



《インタビュー記事掲載情報》

アントワン・タメスティ(ヴィオラ)

- ・ぶらあぼ2月号
- ・名古屋・中日新聞2月10日
- ・ミセス4月号
- ・読売新聞4月8日(夕刊)

牧野葵美(ヴィオラ)

- ・大阪・毎日新聞1月15日(夕刊)
- ・大阪・読売新聞1月25日(夕刊)
- ・大阪・産経新聞 5月上旬掲載予定

百武由紀(ヴィオラ)

- ・サラサーテ vol.57「プリムローズとヴィオラスペース」

佐々木 亮(ヴィオラ)

- ・モーストリー・クラシック6月号

今井信子(ヴィオラ)

- ・朝日新聞 1月27日～30日「人生の贈りもの」
- ・日本経済新聞「こころのページ」4月末掲載予定